



NEWS RELEASE

2017年1月4日
東ソー株式会社

社長年頭挨拶（1月4日、東ソー本社での年頭訓話から抜粋）

新年明けましておめでとうございます。今年も皆さんや皆さんの家族にとって、良い年になりますようお願いしています。

昨年、米国では米国第一主義を掲げるトランプ氏が次期大統領に決定し、環太平洋経済連携協定（TPP）の離脱を提唱する等、保護主義的な動きが予想されます。ヨーロッパでは英国が3月末までにEU離脱の交渉を始めようとしています。秋にはドイツで総選挙が予定されており、世界的に政治的混乱が継続する様相を呈しています。一方、中東やアジアにおける地政学リスクによる混迷も続くと同時に、OPECの減産合意、中国の経済成長率の鈍化等、日本を取り巻く経済環境が益々不透明感を増しています。

この先行き不透明な環境で、当社の今年の経営課題は第一に業績予想の達成です。ビニル・イソシアネート・チェーンの製品やポリマー製品、エチレンアミン等の需給動向に注視していく必要に加え、機能商品の更なる高付加価値化が求められます。また、今年は中期経営計画の2年目に入ります。経済環境の変化があるとしても、中期経営計画の達成に向けて着実に進展させましょう。

第二に安全対策です。社長就任以来、計器室訪問を通して感じた事は、設備を改善していきたいという要望が製造現場にある事です。会社としてもより働きやすい職場環境を目指し、予防保全の考え方に重点を置いて、予算を割り当てる予定です。関係部門の皆さんの技術力と知恵を結集し、安全な化学メーカーとしての位置づけを確立しましょう。

第三に成長戦略についてです。安定的な収益を計上するために、経済環境や製品の需給バランスの変動による影響を受けにくいスペシャリティ製品の拡充を目指します。その実現に向けて産学官の研究だけでなく、海外に研究員を派遣し、直接・間接的に市場のニーズを収集しながら、M&Aを含め、今後期待される機能製品の発掘・上市を目指します。競争力強化を目指すコモディティ分野と機能性を追求するスペシャリティ分野を両軸として、バランス良く事業拡大していきます。

第四にコンプライアンスの実践です。大事な事は各自が留意して日頃の行動に気を配る事です。「おかしい、理屈に合わない」と感じたら、過去からのやり方も原理原則に立ち返って整理し直してみてください。

第五に現場力の強化です。各事業部、各事業所において、今後目指すべき方向や課題は整理されていますが、その実現にあたっては現場力が発揮される事が肝要です。営業、製造、研究、管理部門のそれぞれが指示待ちになるのではなく、皆さんが当事者意識を持って業務に従事してもらいたいと考えています。

当社が皆さんにとって働き甲斐があり、自負できる会社にししましょう。

東ソー株式会社 広報室

東京都港区芝3-8-2 〒105-8623
TEL 03(5427)5103 FAX 03(5427)5195
<http://www.tosoh.co.jp>